

夢団とは

当時高校2年生の
ひとりの生徒の呼びかけによって
設立されました

大震災を経験した記憶がある
最後の世代として
記憶や経験がない世代に
今ある日常の大切さを再認識してほしい

同じような思いがある仲間と協力して
震災の伝承を行えるようにするため
ボランティア活動を目的とした
団体を立ち上げよう

そうして夢団の活動がはじまりました

- HISTORY -

2019

- 9.25 ラグビーW杯2019™釜石会場で震災伝承活動を実施
- 12.25 夢団～未来へつなげるONE TEAM～設立

2020

- 2.11 いわてTSUNAMIメモリアル講座で活動報告 [陸前高田市]
- 2.24 第5回全国被災地語り部シンポジウムIN東北で活動報告 [南三陸町]
- 7. 4 大槌高校復興研究会さん,大船渡高校自然科学部さんと防災交流会 [大槌町]

2021

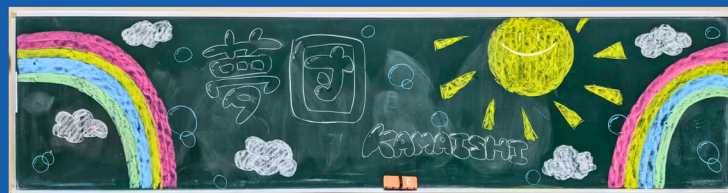
- 3.27 北海道標津高校さんとの交流がスタート!
- 8. 2 標津高校作成のオリジナルHUGを初めて体験
- 11. 7 ぼうさいこくたい2021IN釜石クロージングセッションで登壇
- 12.11 横浜で行われた防災イベント会場で夢団オリジナル動画を上映

2022

- 3.19 3.11メモリアルネットワーク 東日本大震災伝承シンポジウムで活動報告
- 3.21 防災イベントで、缶詰めパンを使ったラスクづくり体験会を実施 [釜石PIT]
- 3.27 北海道厚真町と釜石の子ども交流会で防災すごろくを初めて実施 [釜石PIT]
- 5. 8 釜石シーウェイブスRFCホーム戦会場でオリジナル安否札お披露目
- 10.18 釜石版クロスロードゲームを初めて実施!
- 12.26-28 北海道標津高校へ3名が訪問しリアルHUG等で交流 [北海道標津町]

2023

- 3. 1 J:COM震災アーカイブ「未来へつなぐ語り部の声」にメンバーが出演
- 3.3～「釜横トライ」15名が横浜を訪問し、防災イベントで「防災すごろく」や「釜石版クロスロード」や「語り部」活動を実施 [横浜市]
- 3.11 第28回日本災害医学会総会・学術総会で活動紹介や語り部を実施 [盛岡市]
- 3.12 デイリーストックアクション (DSA) さんとコラボ!
地元食材を活用したレトルトカレーのアレンジレシピ本をお披露目
- 4. 1 高校生防災活動グループ「玄海(鎌倉市)」 「3.11つなぐべし(逗子市)」との交流会を実施
- 7.23 夢団オリジナル防災かるたを初めて実施 [いのちをつなぐ未来館]
- 8.22 静岡の高校生と防災交流を初めて実施 [釜石高校]
- 8.24 第72回全国高等学校PTA連合会大会2023宮城大会でパネリストとして登壇
- 9.17-18 ぼうさいこくたい2023IN横浜へブース出展 [横浜国立大学]



Check it out!!

Instagram



夢団の活動を寄付でサポート

夢団へのお問い合わせはコチラまで

さんつな
〒026-0301
岩手県釜石市鶴住居町29-17-20 さんつなハウス内
santsuna311@gmail.com
0193-55-4630 / 090-1065-9976 (伊藤)

Yahoo!基金 2023年度 防災減災活動支援助成プログラムにより作成

夢団

～未来へつなげる ONE TEAM～

since2019



私たちは岩手県釜石市で
防災や震災伝承を行う
高校生有志のグループです

ゲーム班

子どもが楽しく学べる
防災ゲームを考案！



防災すごろく



防災カルタ

パンの缶詰めラスク
づくり体験

防災食班

おいしい防災食の
アレンジレシピを考案！



DSAさんとコラボ



岩手ならではの
保存食を紹介

ローリング
ストック
推進！



夢団は

「ゲーム班」「防災食班」
「動画班」「語り部」
「釜石版クロスロード」
などに分かれて
様々な活動をしています



2分で語ります



3.11の
リアルな経験を
語り継ぐ

釜石の復興の象徴
“うのスタ”が
ホームグラウンド



津波伝承うちわ
オリジナル安否札
防災意識の底上げへ！

震災伝承

語り部

東日本大震災の経験や
教訓を語り継ぎます



同世代交流



各地で防災に取り組む貴重な同世代！

動画班

震災の教訓を伝える
オリジナル動画を作成！



メンバー数の推移
※現役生のみ的人数

'19 30名
'20 30名
'21 30名
'22 50名
'23 60名



釜石版
クロスロード

究極の選択で
防災を“自分ごと”へ！



夢団メンバーに聞いてみた！！

Q.夢団に入った理由は??

ボランティアが
したかったから！

なんとなく
気になったから！

防災活動を
したかったから！

人と
関わりたいから！

誰かの力に
なりたいから！

先輩が活動していて
憧れたから！

暇つぶし！

被災地の復興の様子を
世界に伝えたい！

3.11の記憶を
活かしたかった

なんとなく...

きっかけは
人それぞれ！

兄に誘われた！

活動が
楽しそう！

Q.メンバーからみて夢団の強みは??

防災意識を高められ
成長できる！

支えてくれる
大人がいる！

友達同士で
協力できる！

コミュニティの輪が
広がる！

被災地で体験者の話を
実際に聞きながら
活動ができる！

地域と連携して大きい
活動ができる場所！

気軽に参加
できる団体！

自分のやりたい
ことができる！

人のために皆で
考えられること！

すごく楽しく
学べる！

行動力の高い仲間がいる！

現役高校生が
活動しているところ！

人数が
多い！

全学年で仲良く
活動できる！

活動を通して地域や他校、
他県のたくさんの人達と
つながることができる！

防災意外にも
いろいろ経験できる

たくさんの
仲間がいる！

Q.夢団に入って良かった??&夢団へメッセージ!

とてもよい!!
自分の力を発揮できる
場所だから!

夢団を
つないでほしい!

卒業生として皆さんの活動を
楽しみにしています!

とても良かった!!
自分のレベルアップに
つながった

夢団で震災を
語り継いで
風化させないで!

とても良かった!!
とても楽しみながら
防災を学んでいる!

とても良かった!!
たくさんの大切な方に
出会えた!!

自分の良さを
見つけることができ
自分のことが好きになった!

とても良かった!!
夢団に入って自分の意見を
伝えられるようになった!

夢団の活動が自分の
将来につながっている!

夢団に関わる大人にも聞いてみた！！

釜石高校教員
湊博之先生



Q.先生から見て夢団は
どのような団体??

自ら考え、企画し、運営
していく活動自体が社会
に役立つ活動であると同
時に、一人ひとり大きな
成長につながるところだ
と感じています

夢団初代表
太田夢さん



Q.これからの夢団に
どうなって欲しい??
後輩へメッセージを
お願いします!

一人一人が挑戦したいことを
成し遂げられるようなチームになって欲しいです。
5年間も夢団が続いているのは
皆さんがつないできてくれた
おかげです。ありがとうございます!

夢団の活動を支える2人

さんつな 代表
伊藤聡さん



Q.伊藤さんからみて
夢団の強みは??

防災って関わろうと思うハードルが高い
けど、程よく低いハードルの夢団がある
ことで防災に関わる人が増やせている。
一生懸命活動する姿を見せることで、
下の世代が憧れる存在になっている

釜石まちづくり(株)
常陸奈緒子さん



Q.地域にとって
夢団はどんな存在??

夢団のみんなが真剣かつ楽しそうに
活動していることで、防災を身近に
感じられるきっかけになり、地域の
パワーにもなってくれる存在です!

これからも夢団は未来へつなげるため頑張っています!
これからもよろしくお願いします!

インタビュー こころ



高校2年のときに
釜石版クロスロードを
考案して実施。
夢団のみんな大好きです!

SPECIAL THANKS

ご寄付やご支援により支えてくださり
ありがとうございます!

- いのちをつなぐ未来館 様
- いわて生協 様
- 岩手大学地域防災研究センター 様
- 釜石観光ガイド会 様
- 釜石高等学校 様
- (一社)釜石シーウェイブスRFC 様
- 釜石まちづくり(株) 様
- 釜石ライオンズクラブ 様
- 釜石トライ実行委員会 様
- GENKAI 様
- さんつな 様
- 3.11つなぐっぺし 様
- (公社)3.11メモリアルネットワーク 様
- 標津町 様
- 標津高等学校 様
- しべつ未来塾 様
- (一社)ディリーストックアクション 様
- 東北ろうきん 様
- Tri4JAPAN 様
- 774プロジェクト 様
- Yahoo!基金 様
- (公財)よこはまユース 様

好き×防災

防災を誰よりも

楽しく真剣に

「防災」と聞くとき多くの人が下を向く。大切だと分かっているからこそ、逃げたくなってしまう天災を私たちが食い止めることはできません。迫り来る未曾有の大災害の前にあなたを守りたい私たちの学生らしい発想力と経験で新しい「防災」を提案、あなただけの「防災」を届けます
あなたの「防災」一緒につくりませんか？



がくせいのみで運営



メンバーは中高大学生のみ
若者の横のつながりや発想力を
活かし、自由な関係だからこそ
実現できたプラットフォーム
私たちのつながりで防災に取
まらない学びをカタチにし、あ
なたのもとへ発信して行きます。

あなただけの防災



あなた、地域、学校
それぞれの特性に合わせた形
での学びを通じて、新たな発見
ができる防災教育を実現。
「形式的な訓練」が多いなか、
私たちは、「自分」に落とし込
める防災を提供します。

ほんきで楽しい防災



防災はつまらない
受動的な学びでは、防災で最も
大事な「命を守る術」には到底
辿り着くことはできない。
私たちは、主体的に学び、笑顔
あふれる「命を守る防災教育」
を目指します。



私たちが届けるのは「本気の防災」

防災運動会

小学生や中学生向けに実施しているプログラム。
障害物リレー形式で普段扱うことのない防災用品を体験。
的確な手順を踏んで操作し、そのスピードを競い合う。



難しい防災と楽しい運動会の掛け合わせで、
全身を使って「守り方」を体験。
従来の受動的な防災訓練を続けることでは意味がない！
だからこそ「笑顔あふれる主体的な防災訓練」を

防災アドベンチャー

家族や中規模自治会向けに実施しているプログラム。
ミッションカードを用いたアドベンチャー形式で街を歩く
防災を五感で体験することができるプログラム



普段とは違った視点で街歩きを楽しむプログラム
危険箇所を探し、地域の防災を見直す探検ゲーム
自分が生活する街を知ることは
地域を守る、自分を守る最大の近道である。

アウトドア防災

家族や中規模自治会向けに実施しているプログラム。
着火やテント設置など、一般的なアウトドア技術から
緊急時の応急手当て、救出搬送などを学べるプログラム



アウトドア防災の可能性は無限大
原則家族単位での生活になるので、プライバシーの保護や
生活リズムの観点でも注目されている。
避難生活はストレス社会だからこそ楽しく避難

防災普及団体Genkai（玄海）とは

2021年、鎌倉の防災に危機感を抱いた学生が立ち上げた学生団体

鎌倉を拠点に、中高大学生35名が中心となり、受動的な防災教育ではなく主体的に学べる防災を展開
「あなたの好きを防災へ」をテーマに、学生一人ひとりの「得意」や「夢」を防災と結びつけ
カタチにするプラットフォーム。

学生だからこそ生み出すことのできる企画と被災地との交流を通じた学びを活かし、

「防災って本当に大切なんだ」と思ってもらえるような、新しい防災教育をあなたのもとへ届けます。

震災を学び、つなげる

東日本大震災で被害を受けた地域の
訪問や現地の学生との交流を通じて
被災地の現状やあの日の出来事を
東北の地に足をつけて吸収する。
「災害を学び」「つながりを広げる」
新しい防災のきっかけとしての
交流プログラムを実施している



防災を学び、つなげる

内部研修や他団体との交流を通じて
防災のあり方から専門知識までを
自分の興味と結びつけ幅広く学ぶ
ここで身につけた学びをもとに、
イベントや講習会で「伝える側」
としての発信を行い、「私の防災」
を仲間と実践知として構築していく



自分を学び、つながる

普段の学生生活や家庭ではできない経験を通じて、
まだ見ぬ新たな自分を発見、
幅広い年代、活動を行う人々との
出会いを通じて、感動と学びを得る。
団体活動を「自分」の強みを最大限
活かすプラットフォームとして活用し
仲間とともに夢をカタチにする



私たちと一緒に

新たな防災つくりにませんか

新メンバーも絶賛募集中